

取組む課題：公共交通の利用者が少ないこと			
対象課題の絞り込み			
★	交通弱者の利便性を高める (交通ネットワークの構築)		
	長鉄、関シティバス、タク		お金を払う利用者を増やす
	通勤通学については考えなくて良いか	→必要ない	↑利便性を高める ダイヤ・乗継・路線
★	満席にするのが目的なのか サービス向上は		
	税金を無制限に投入する必要はない		
★	公共交通をまちの財産として考える	長期的、将来的視点が必要	
対策『課題を解決するための取組』			
絞り込んだ事業			
・	一日フリー切符、乗り放題		
・	定期(1月、1年)	→利用客増加可能	
・	免許返納(運賃半額、EE)		
・	タクシー(フリー)の利用		
・	自由乗降の導入	→利用者増、サービス向	
・	観光による利用者増		
その他の意見			
乗り降り自由ゾーンを作る	シティバスのバス停を無くす	バス、美濃市と共同運行	
家族で日曜ドライブバス	どこでも乗車可能に	目的、使途別路線を作る	
コミュニティバスと高速バスのバス停が競合している	長鉄の鵜沼への延長	例 朝 名駅直行便	
	はとバスみたいなものを作って、教育や観光に使	夜 帰宅直行便	
商店と組んで長鉄使用者割引	乗降場のユニバーサルデザイン	弱者にやさしいバス	
月額定期乗降全路線自由制	バリアフリー化	バスが近づくと歌が聞こえる	
昼間の割引サービス	買い物荷物の置き場を作る	自転車置き場を作る	
	家族迎え用の駐車場を作る	降りる駅を作る	
スローライフできる 雇用環境の創造	移動しなくていい生活		
電子マネーカードの普及			
乗継時刻表アプリの開発	長鉄で食料の運搬をする		
	最寄りの郵便局を使用す		
	町内会・老人会・福祉関係・学校・企業 ヒヤリン	…利便性向上・PRのため	
市職員 JA職員 率先利用			
NOマイカーデーの制定			
小中学校に乗車に対する教育を考える			